

ミズゴケ科

# スギバミズゴケ

*Sphagnum capillifolium* (Ehrh.) Hedw.

兵庫県ランク… A

環境省ランク… -

## ■ 県内分布

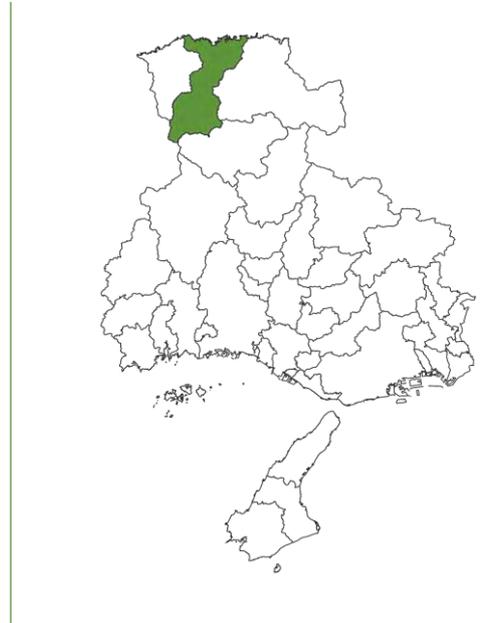
香美町

## ■ 国内分布

北海道、本州(中部以北)

## ■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境 ○	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界 ○
		希少 ○



## ■ 特記事項

大沼湿原中央部はわずかに陸地化の進行の程度が小さく、そこにスギバミズゴケが大きな群落をつくっている。量は多いが、乾燥化によって一気に無くなる可能性があるので注意が必要。

## ■ 保護上の留意点

近畿地方における恐らく唯一の産地。滋賀県からも以前は報告があったが、現状は不明。

## ■ 種の概要

植物体は小型。茎葉は二等辺三角形、先端は狭い切頭で鋸歯がある。植物体は一部または全体が紫赤色を帯びることが多くよく目立つ。茎葉の舷は基部で幅1/2以上に広がる。枝葉は枝に5列に並ぶが不明瞭。茎の表皮細胞に孔がない。枝葉中央部腹面の透明細胞には孔がない。地下水位の高い場所に生育する。